



## Part II: 東京大学で利用可能な コミュニケーションツールとクラウドサービス

説明者： 佐藤 寛也  
本部DX推進課 主任

質問を**slido**でお寄せください

[このリンク](https://sli.do/)にアクセスするか、

<https://sli.do/> からアクセス

して以下のコードを入力

**utelecon20240913**

# Outline

## Part II : 東京大学で利用可能な コミュニケーションツールとクラウドサービス

1. Zoom などのオンライン会議用ツール
2. UTokyo Slack
3. ECCS クラウドメール (Google)
4. UTokyo Microsoft License
5. 生成AI
6. サポート体制

質問を**slido**でお寄せください

[このリンク](https://sli.do/)にアクセスするか,

<https://sli.do/> からアクセス

して以下のコードを入力

**utelecon20240913**

# Zoom

1. Zoomなどのオンライン会議用ツール
2. UTokyo Slack
3. ECCS クラウドメール (Google)
4. UTokyo Microsoft License
5. 生成AI
6. サポート体制

質問を**slido**でお寄せください

[このリンク](https://sli.do/)にアクセスするか,

<https://sli.do/> からアクセス

して以下のコードを入力

**utelecon20240913**

# 東京大学で最も一般的なオンライン会議ツール

会議中に利用できる様々な機能がある

- 画面共有
- テキストチャット
- ブレイクアウトルーム
  - 会議を複数の小さな会議室に分割（グループワークなど）
- 投票
  - 簡単なアンケート, クイズなど

オンライン会議に参加するだけであればライセンスは不要です

- サインイン画面の入力欄は使用しない

- 以下のURLに直接アクセス

**推奨**

<https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/profile>

(このURLのブックマークを推奨します)

UTokyo Account にサインインした状態でない場合には、サインイン画面に移ります。サインインしてください。

## Sign In

Email Address

Password

[Forgot password?](#)

[Help](#)

Sign In

By signing in, I agree to the Zoom's Privacy Statement and Terms of Service.

☐ Stay signed in

Or sign in with



SSO



Apple



Google



Facebook

Zoom is protected by reCAPTCHA and the Privacy Policy and Terms of Service apply.

- サインイン画面の入力欄は使用しない

- 以下のURLに直接アクセス

推奨

<https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/profile>

(このURLのブックマークを推奨します)

- またはSSO ボタンからアクセスできる

Sign In

Email Address

Password

Forgot password? Help

Sign In

By signing in, I agree to the Zoom's Privacy Statement and Terms of Service.

☐ Stay signed in

Or sign in with

SSO Apple Google Facebook

Zoom is protected by reCAPTCHA and the Privacy Policy and Terms of Service apply.

# Zoom へのサインイン

- サインイン画面の入力欄は使用しない

- 以下のURLに直接アクセス

推奨

<https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/profile>

(このURLのブックマークを推奨します)

- またはSSO ボタンからアクセスできる

会社のドメインに **u-tokyo-ac-jp** を入力

UTokyo Account にサインインした状態でない場合には、サインイン画面に移ります。サインインしてください。

ピリオドでなくハイフンなので注意

Sign In With SSO

Enter your company domain.

Company Domain  
u-tokyo-ac-jp .zoom.us

Help

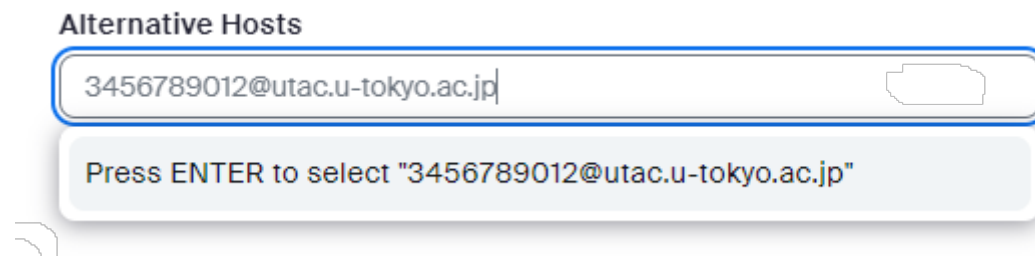
Continue

I don't know the company domain

# Zoom 利用のポイント

- 基本的な使い方は通常のZoomと同じ
- **代替ホストを指定**するときは **UTokyo Account** を使う

10桁の数字 + “@utac.u-tokyo.ac.jp”



- 組織内に限定した会議の設定は東大では一般的でない
  - 学生はしばしばサインインせずにオンライン授業に参加する
  - そのため, **Zoom情報の共有展開時には注意が必要**



# Zoom 利用のポイント

- 以下の場合には個別の事前設定が必要
    - 参加者が300名を超えるオンライン会議を開催するとき
    - ウェビナーを開催するとき
- あらかじめ[ライセンス追加フォーム](#)から申請してください

- **不要になったレコーディングは削除してください！**
  - 大学全体の容量の上限には限りがあります

# Webex

1. Zoom などのオンライン会議用ツール
2. UTokyo Slack
3. ECCS クラウドメール (Google)
4. UTokyo Microsoft License
5. 生成AI
6. サポート体制

質問を**slido**でお寄せください

[このリンク](https://sli.do/)にアクセスするか,

<https://sli.do/> からアクセス

して以下のコードを入力

**utelecon20240913**

- オンライン会議ツール

- 大規模なオンライン会議やウェビナー向け

例) 参加登録画面のカスタマイズ機能

- 事前の申請不要でウェビナーが開催可能

# webex へのサインイン

- Email Address 欄に

UTokyo Account を入力して次へ  
10桁の数字 + “@utac.u-tokyo.ac.jp”

UTokyo Account にサインインした状態でない場合には、サインイン画面に移ります。サインインしてください。

<https://signin.webex.com/signin>

The image shows a Webex login interface on a dark background. At the top is the Webex logo and the word 'ログイン' (Login). Below this, it says '次で続行:' (Continue with:). There are four circular icons for social login: Google, Microsoft, Facebook, and Apple. Below these is a horizontal line with the text 'または' (or). Underneath is a red-bordered box containing an 'Email address' label and a text input field with the email '3456789012@utac.u-tokyo.ac.jp'. Below the input field is a white button with the text '次へ' (Next). At the bottom of the screen, it says 'Webex アカウントをお持ちでない場合 無料でサインアップ' (If you don't have a Webex account, sign up for free).

# Slido

1. Zoom and Tools for Online Meeting
2. UTokyo Slack
3. ECCS Cloud Email (Google)
4. UTokyo Microsoft License
5. Generative AI and other tools
6. How to Get Supported

質問を**slido**でお寄せください

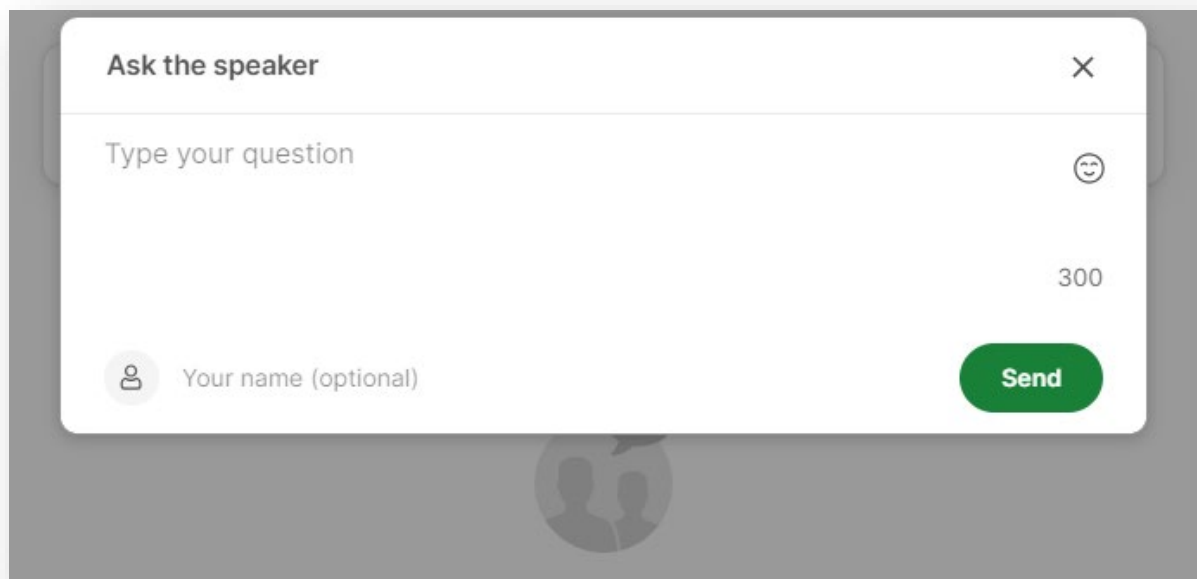
[このリンク](https://sli.do/)にアクセスするか,

<https://sli.do/> からアクセス

して以下のコードを入力

**utelecon20240913**

- 会議やイベントで**質疑応答や投票**をおこなうツール
  - 会議やイベントごとにウェブページを作成
  - 匿名で質問を寄せてもらったうえ、モデレータから回答できる



**本日の説明会でも利用しています！**

**質問をslidoでお寄せください**

このリンクにアクセスするか、  
<https://sli.do/> からアクセス  
して以下のコードを入力

**utelecon20240913**

事前質問も歓迎します！

# Slido へのサインイン

- Email Address 欄に  
UTokyo Account を入力して次へ  
**10桁の数字 + “@utac.u-tokyo.ac.jp”**

ここからもログイン可能

UTokyo Account にサインインした状態でない場合には、サインイン画面に移ります。サインインしてください。

<https://admin.sli.do/events>

## Log in to your account

Haven't signed up yet? [Create account](#)



Log in with Webex



Log in with Google

or

Your email

3456789012@utac.u-tokyo.ac.jp

Continue



# UTokyo Slack

1. Zoom などのオンライン会議用ツール
2. UTokyo Slack
3. ECCS クラウドメール (Google)
4. UTokyo Microsoft License
5. 生成AI
6. サポート体制

質問を**slido**でお寄せください

[このリンク](https://sli.do/)にアクセスするか,

<https://sli.do/> からアクセス

して以下のコードを入力

**utelecon20240913**



# U 東京大学における Slack の提供

- Slack : チャットを中心にした, チームでのコミュニケーションのためのツール
  - ワークスペースと呼ばれるチームの中での共同作業
- 東京大学では「UTokyo Slack」と称して包括契約環境を提供
  - 本学構成員は有償ワークスペース向けの機能を利用可能
  - ワークスペースの扱いが通常のSlackとは少し異なる点あり

# UTokyo Slack 参加の手順

UTokyo Slack にアクセス

<https://utokyo.enterprise.slack.com/>

“UTokyo Account でサインイン”

UTokyo Account にサインインした状態でない場合には、サインイン画面に移ります。サインインしてください。

サービス利用規約の確認（初回のみ）

ワークスペース一覧が開く

参加するワークスペースを選択

## 注意事項

- **情報セキュリティ教育**を受講完了している必要があります
- **多要素認証**を有効化している必要があります

# UTokyo Slack 参加の手順

UTokyo Slack にアクセス



“UTokyo Account でサインイン”



サービス利用規約の確認（初回のみ）



ワークスペース一覧が開く



参加するワークスペースを選択

直接参加できる（または参加をリクエストできる）ワークスペースが一覧で表示されるので、選択してください。招待されている非公開スペースもあわせて表示されます。



UTokyo アゴラ

605 人のアクティブメンバー

東京大学の構成員であれば誰でも...

Slack を開く

ワークスペース「UTokyo アゴラ」はすべての学生・教職員が自由に参加できます。まずはぜひ参加してみてください！

- 初めて UTokyo Slack に参加した際には、**プロフィールを変更**してください
    - 名前としてメッセージに表示される「表示名」は、初期状態では UTokyo Account の10桁の数字になっています
    - 他のユーザが誰かを識別できるよう、**適切な名前に変更**することを推奨しています
- プロフィールの変更手順（PCの場合）**

  - 画面左下のユーザアイコンを押す
  - 表示されるメニューから「プロフィール」を選択する
  - 名前の右に表示されている「編集」を押す
  - 変更を入力して「変更を保存」を押す
- プロフィールは UTokyo Slack 内のすべてのワークスペースに共通であり、**ワークスペースごとにプロフィールを変えることはできません**

## 通常のSlackワークスペース

Workspace A  
#channel\_a  
#channel\_b  
Direct Messages

Workspace B  
#channel\_a  
#channel\_b  
Direct Messages

Workspace C  
#channel\_a  
#channel\_b  
Direct Messages

## Enterprise Grid のワークスペース

UTokyo Slack  
(Enterprise Grid)

- Workspace A  
#channel\_a  
#channel\_b
- Workspace B  
#channel\_a  
#channel\_b
- Wordspace C  
#channel\_a  
#channel\_b

Direct Messages **(共通)**

# ワークスペースの作成

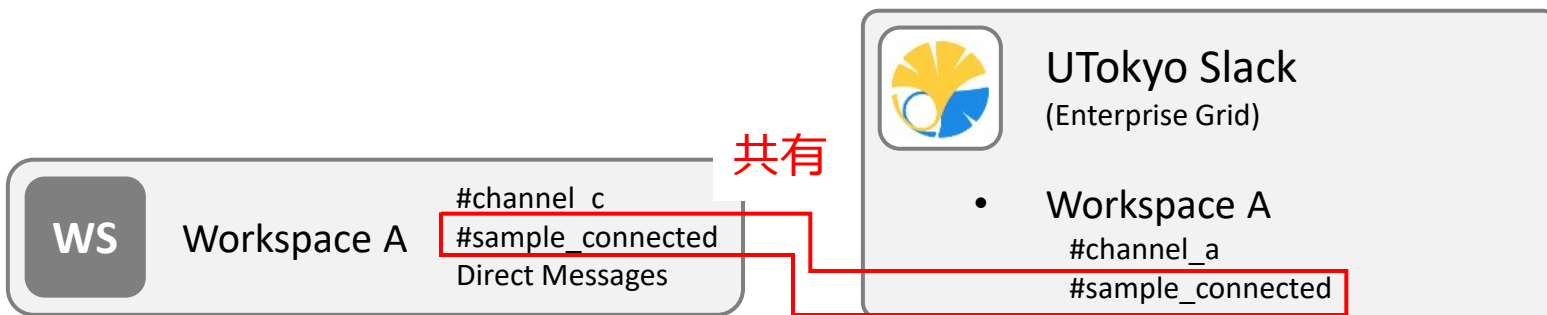
- ・ **教職員はワークスペースの作成を申請できます**（**学生は不可**）

- ・ 申請の手順は [utelecon の案内ページ](#)を参照してください
- ・ ワークスペースの種類

	ワークスペース一覧での表示	ユーザが自分自身で参加	ユーザが参加リクエストを送信	管理者が招待メールを送信
公開	○	○	—	○
リクエスト制	○	×	○	○
招待制	○	×	×	○
非公開	×	×	×	○

- ・ ワークスペースの作成後、メンバーを招待してください
  - ・ メンバーを招待するには、**招待する人の UTokyo Account の数字10桁を知っている必要**があります

- Slack コネクト
  - UTokyo Slack 環境で学外の人と共同作業するための方法
    - Slack の「ゲスト」機能は UTokyo Slack では利用できません
  - UTokyo Slack のワークスペースとその他の学外 Slack ワークスペースとの間で共有されるチャンネルを作成
    - UTokyo Slack のワークスペースは無料ライセンスのワークスペースとの間でも Slack コネクトの機能が利用可能です
  - 詳細は : <https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/slack/workspace/connect>



- マルチワークスペースチャンネル
  - UTokyo Slack 内の複数のワークスペースで共有されるチャンネルを作成
    - Slack コネクト は UTokyo Slack のワークスペースどうしでは利用できません
  - 詳細は [utelecon の案内ページ](#)を参照してください



UTokyo Slack  
(Enterprise Grid)

#channel\_a – Workspace A  
#channel\_b – Workspace A  
#channel\_c – Workspace B  
**#sample\_mwsc**

↑ Workspace A と B で共有



# Microsoft Teams

Teams

1. Zoom などのオンライン会議用ツール
2. UTokyo Slack
3. ECCS クラウドメール (Google)
4. UTokyo Microsoft License
5. 生成AI
6. サポート体制

質問を**slido**でお寄せください

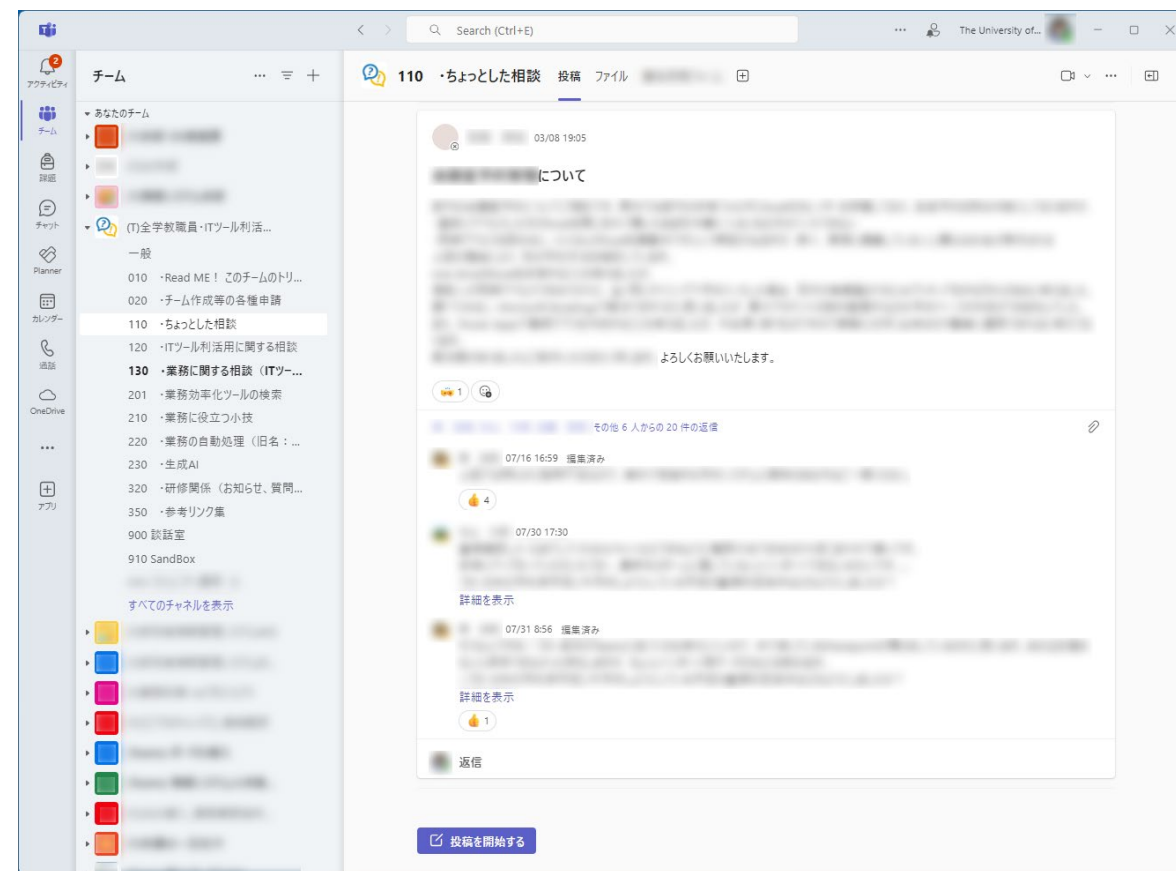
[このリンク](https://sli.do/)にアクセスするか,

<https://sli.do/> からアクセス

して以下のコードを入力

**utelecon20240913**

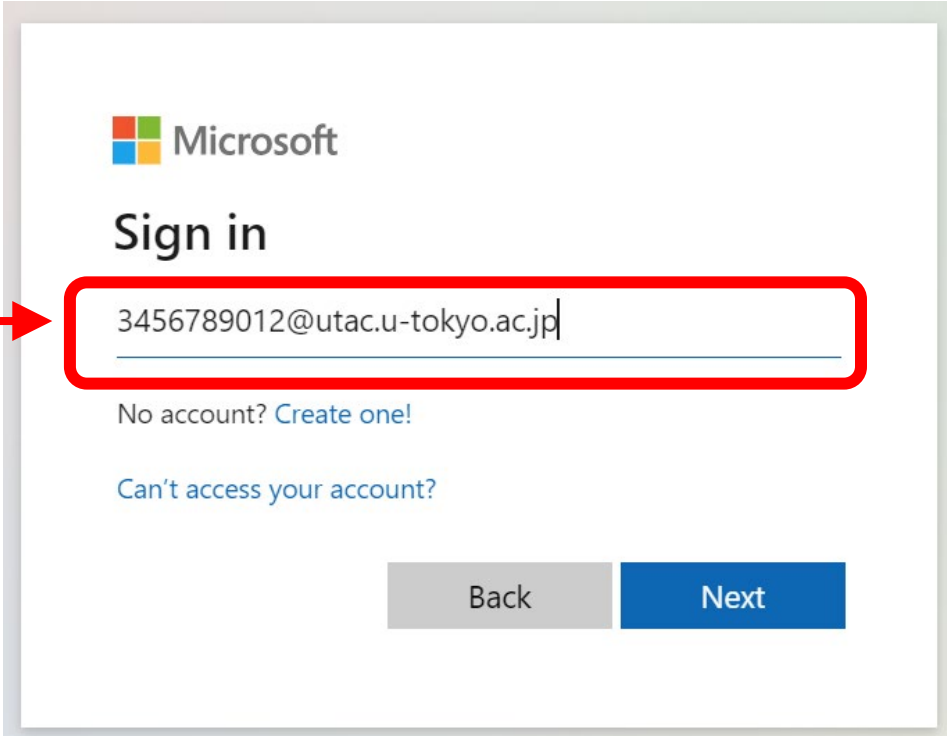
- 教職員は Microsoft Teams を利用できます（**学生は不可**）
- Microsoft Teams は職員に多く利用されています
  - 本部・各部局の事務組織ごとにチームが作成されています（事務部，部，課，チームなど）
  - 教職員は業務上必要なチームの作成を申請できます



# U Microsoft Teams にサインイン

- メール, 電話, Skype 欄に  
UTokyo Account を入力し次へ  
10桁の数字 + “@utac.u-tokyo.ac.jp”

UTokyo Account にサインインした状態でない場合には,  
サインイン画面に移ります. サインインしてください.



Microsoft

Sign in

3456789012@utac.u-tokyo.ac.jp

No account? [Create one!](#)

[Can't access your account?](#)

Back Next

<https://teams.microsoft.com/>

# ECCS Cloud Email (Google)

1. Zoom などのオンライン会議用ツール
2. UTokyo Slack
3. ECCS クラウドメール (Google)
4. UTokyo Microsoft License
5. 生成AI
6. サポート体制

- **教育用計算機システム ECCS**



ECCS

Information Technology Center,  
The University of Tokyo

**Educational Campuswide Computing System**

- 情報基盤センターが提供する教育用システムの総称

- **ECCS クラウドメール**

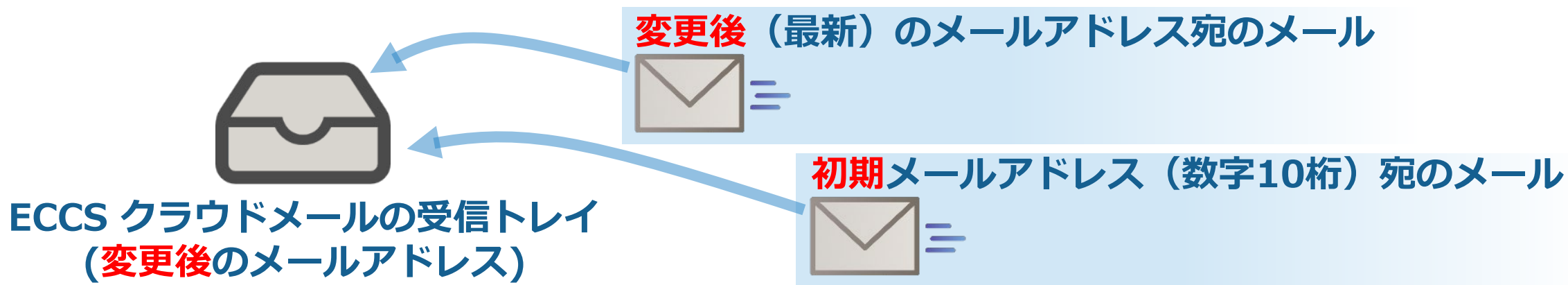


Information Technology Center, The University of Tokyo

- ECCS の一環として提供されている **Google Workspace for Education** の環境

# ECCS クラウドメール (@g.ecc.u-tokyo.ac.jp)

- Gmailと使い勝手は同じ ; ドメインは ECCS クラウドメール独自のもの
- 初期設定状態でのメールアドレスは **数字10桁 + @g.ecc.u-tokyo.ac.jp**
- 初期設定状態のまま使うこともできますが、**好みのメールアドレスに変更することを推奨しています**
- メールアドレスを変更した後も、**初期メールアドレスを宛先としたメールは引き続き受け取ることができます**



- ECCS クラウドメールを日常的には使わないつもりであっても、初期設定は済ませておくことを推奨しています
  - Zoom や Slack からのものなど、ECCS クラウドメール宛にしか届かないメールがあります
  - 日常的に利用しているメールアドレスへの転送設定も可能です



# ECCS クラウドメールのアドレスを変更する

1. UTokyo Account 利用者メニューにアクセスしてください
  - このログイン時に入力するのは共通ID10桁のみです (@utac 以下は不要です)
2. 「ECCSクラウドメール」をクリックしてください
3. 任意のユーザーネーム (@以前の文字列) を入力し「保存」を押してください
4. **40分以上待ってください**

## **Username** (string before @) **Requirements**

- 使用できるのは小文字英字, 数字, ハイフンです :  
**abcdefghijklmnopqrstuvwxyz0123456789-**
- 既に他のユーザが利用している (利用したことがある) ものは設定できません
- 管理上の理由から設定できない文字列があります
- 何度でも変更可能ですが, 一度変更したメールアドレスは変更後の30日間は変更できません.



# ECCS クラウドメールへのサインイン

- **変更後**のメールアドレスを入力し，次へ

UTokyo Account にサインインした状態でない場合には，サインイン画面に移ります．サインインしてください．

<https://mail.google.com/>

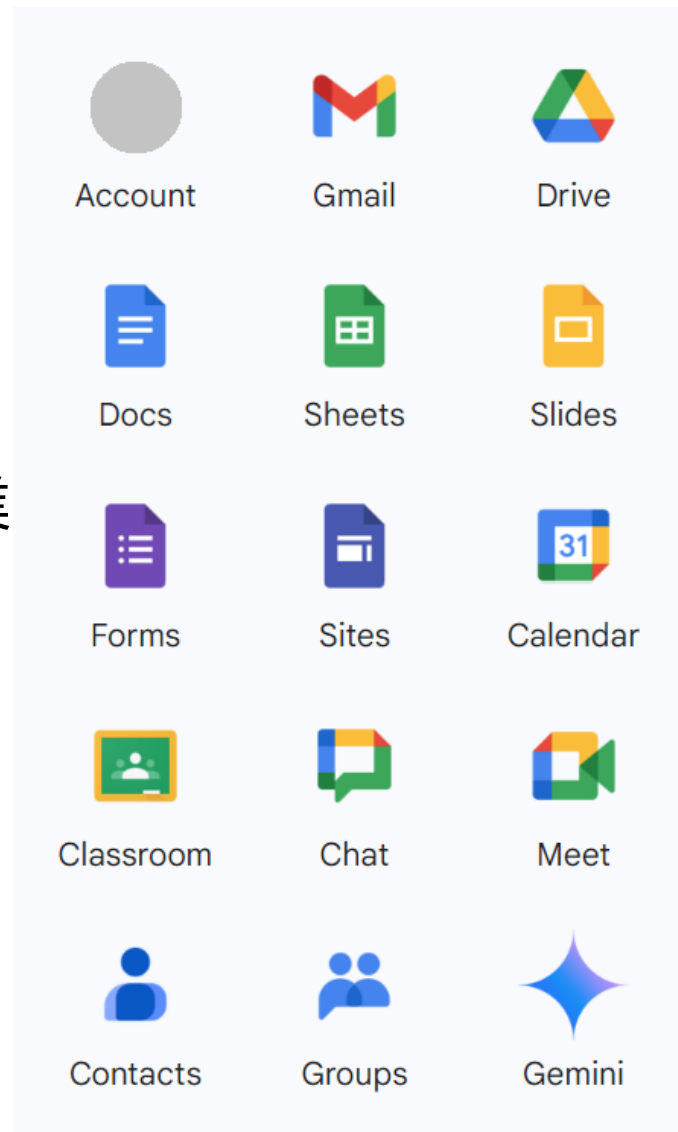


The screenshot shows the Google login interface. At the top is the Google logo. Below it is the text 'ログイン' (Login) and a link 'Gmail に移動' (Move to Gmail). A text input field is highlighted with a red border and contains the email address 'changedusername@g.ecc.u-tokyo.ac.jp'. Above the input field is the placeholder text 'メールアドレスまたは電話番号' (Email address or phone number). Below the input field is a link 'メールアドレスを忘れた場合' (If you forgot your email address). Further down, there is a note about guest mode: 'ご自分のパソコンでない場合は、ゲストモードを使用して非公開でログインしてください。' followed by a link 'ゲストモードの使い方の詳細' (Details on how to use guest mode). At the bottom right, there are two buttons: 'アカウントを作成' (Create account) and '次へ' (Next).

- サインイン後は，Gmail と同じように利用できます

- **Gmail** – 電子メール
- **Calendar** – スケジュールの管理と共有
- **Drive** – クラウドにファイルを保存し共有
- **Docs/Sheets/Slides**
  - ドキュメントの作成と共有（共同作業）
- **Forms** – フォームを作成し回答を収集
- **Sites** – ウェブページを作成し公開
- **Classroom** – 学習管理システム（LMS）
  - ※ 基本的には **UTOL** の利用を推奨しています（Part III 参照）
- **Gemini** – 対話型生成AI

など



# 個人用 Google アカウント (@gmail.com) との違い

- Gmail

- メールアドレスのドメインは [@g.ecc.u-tokyo.ac.jp](mailto:@g.ecc.u-tokyo.ac.jp)
- メールアドレス（ユーザーネーム）を変更可能

- Google Drive

- 共有範囲を学内構成員（ECCSクラウドメールユーザ）に限定できる

# 個人用 Google アカウント (@gmail.com) との違い

- 個人のマイドライブの容量上限は**125GB**です
  - 大学予算で支払い可能な場合、有償で容量を拡大できます（私費は不可）
  - ECCSストレージ管理システム

利用者	マイドライブ使用量/容量	共有ドライブ容量の合計	ストレージ制限値	操作
@g.ecc.u-tokyo.ac.jp	GB/120GB	5GB	125GB	ストレージ制限値変更

- 詳細は以下を参照してください。  
[https://www-old.ecc.u-tokyo.ac.jp/storage\\_mgt/](https://www-old.ecc.u-tokyo.ac.jp/storage_mgt/)  
※ URLが近日中に変更になる予定があります

# 個人用 Google アカウント (@gmail.com) との違い

- Google Drive – **共有ドライブ**の作り方
  - 容量を管理する必要があるため、通常の方法では共有ドライブを作成することができません
    - 共有ドライブについての詳細は [utelecon の記事](#)を参照してください
    - 共有ドライブの作り方は以下のページで説明しています  
[https://www-old.ecc.u-tokyo.ac.jp/storage\\_mgt/](https://www-old.ecc.u-tokyo.ac.jp/storage_mgt/)  
※ URLが近日中に変更になる予定があります

- **所有する共有ドライブに割り当てている容量が個人のマイドライブ容量から差し引かれます**

≡ 共有ドライブ一覧							
共有ドライブ作成							
共有ドライブ名	使用量	容量	代表者	操作			
	0.0GB	20GB		代表権取得	代表権委譲	容量変更	管理者権限追加

# 他の Google ワークスペースの可能性

- 一部に、**ECCS クラウドメールとは別に、独自の Google Workspace のアカウントを構成員に提供している部局**があります
  - ECCS クラウドメール以外の Gmail アカウントや Google Workspace のアカウントを利用する場合は、**状況に応じてアカウントを切り替えてください**
- ここに記載されているのは ECCS クラウドメールの Google Workspace についてであり、各部局の Google Workspace でも同様とは限りません
  - 詳細は各部局の担当者にお問い合わせください

# UTokyo Microsoft License

1. Zoom などのオンライン会議用ツール
2. UTokyo Slack
3. ECCS クラウドメール (Google)
4. UTokyo Microsoft License
5. 生成AI
6. サポート体制

質問を**slido**でお寄せください

[このリンク](https://sli.do/)にアクセスするか,

<https://sli.do/> からアクセス

して以下のコードを入力

**utelecon20240913**

# U Microsoft 365 へのサインイン

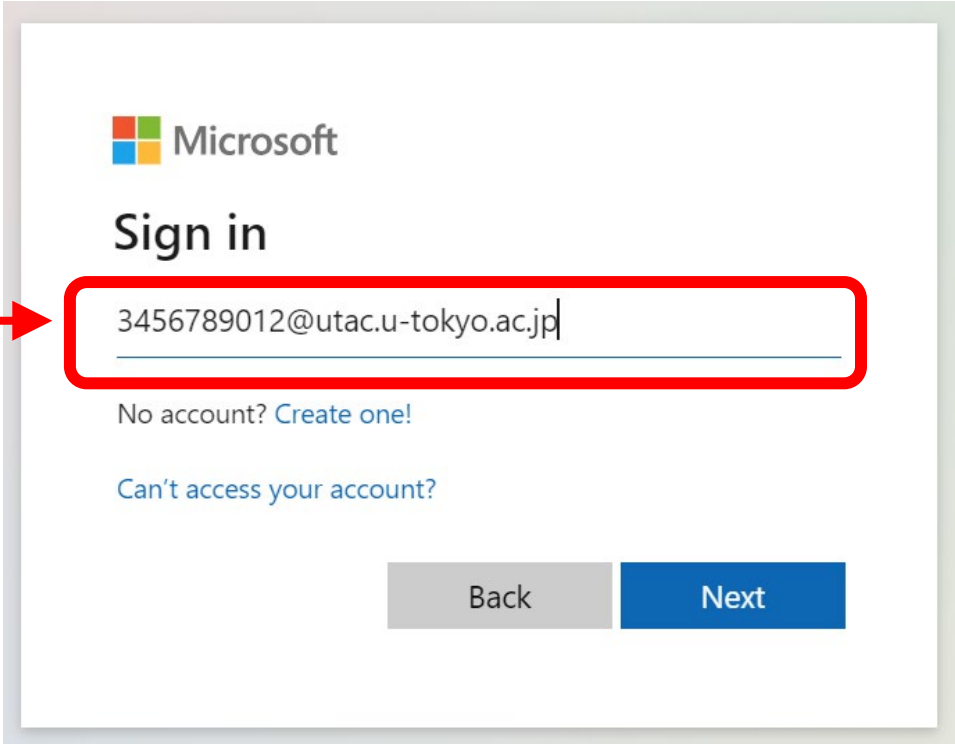
- 学内構成員には Microsoft 365 が提供されています

- メール, 電話, Skype 欄に

UTokyo Account を入力し次へ

10桁の数字 + “@utac.u-tokyo.ac.jp”

UTokyo Account にサインインした状態でない場合には、サインイン画面に移ります。サインインしてください。



Microsoft

Sign in

3456789012@utac.u-tokyo.ac.jp

No account? [Create one!](#)

[Can't access your account?](#)

Back Next

<https://www.office.com/login>



- **Teams** – テキストチャットのコミュニケーション
- **Outlook**
  - メール – **職員メール**と Microsoft 365 各種サービスからの通知
  - カレンダー – スケジュールの管理と共有
- **Word/Excel/PowerPoint** – ドキュメント作成と共有（共同作業）
- **OneDrive/ SharePoint** – クラウドにファイルを保存し共有
- **Power Platform** – 自動化フローや独自アプリの作成など
- **Copilot** – 対話型生成AI  
など

(Teams については 25～27 ページを参照)

- Outlook (教職員のみ)

- Outlook で利用する**職員メールアドレス**を設定して利用可能

**[姓ローマ字].[名ローマ字]@mail.u-tokyo.ac.jp** (原則)

- 発行手順：

1. UTokyo Account 利用者メニューから、ここにアクセス
2. UTokyo Account で再度ログイン
3. 申請書作成から職員メール利用申請書を選択



- 詳細は [UTokyo Portal の案内ページ](#)を参照してください

# Teams と Outlook

- 職員メールを発行すると、**学内構成員が氏名で Teams や Outlook の連絡先を検索できる**ようになります



職員メールアドレスを  
設定した教職員は検索可能

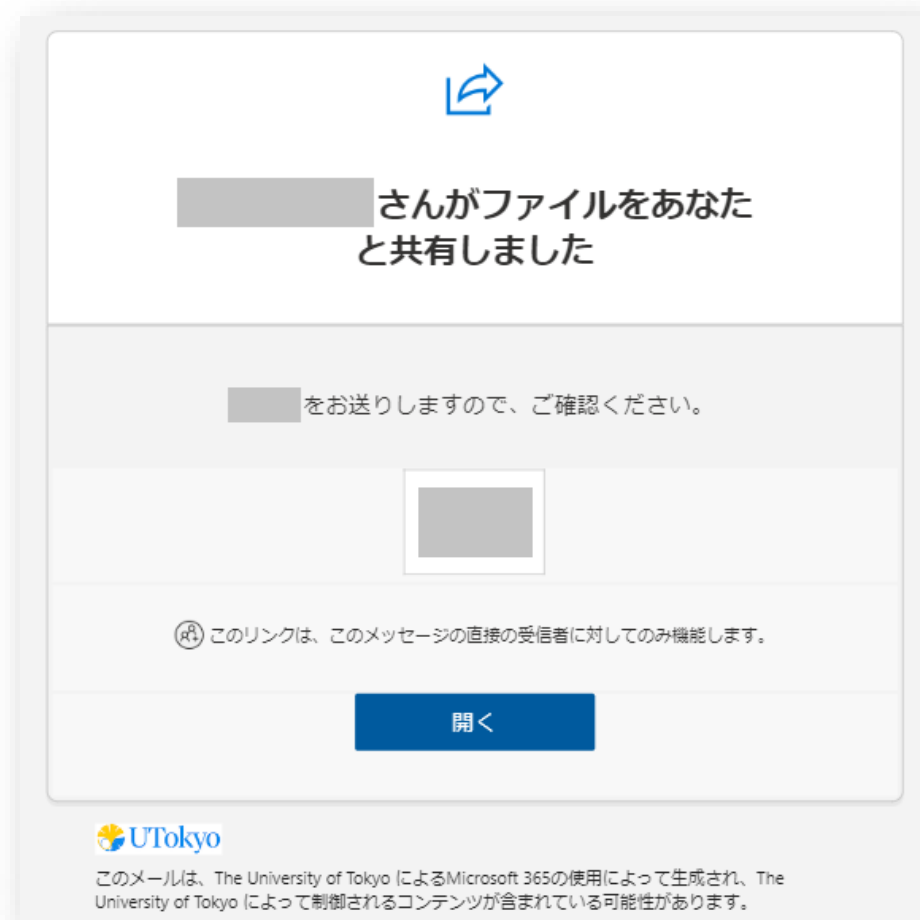
- 職員メールを設定していなくても、  
**Microsoft 365 のサービスからの通知は  
Outlook のメールボックスに届きます**

例) OneDrive のファイル共有通知、  
Teams のメンション通知など

職員メールアドレスを取得していない場合、  
Outlook のメールアドレスは以下のいずれかになります。

10桁 + @utac.u-tokyo.ac.jp

10桁 + @univtokyo.onmicrosoft.com



# Microsoft Word/Excel/PowerPoint

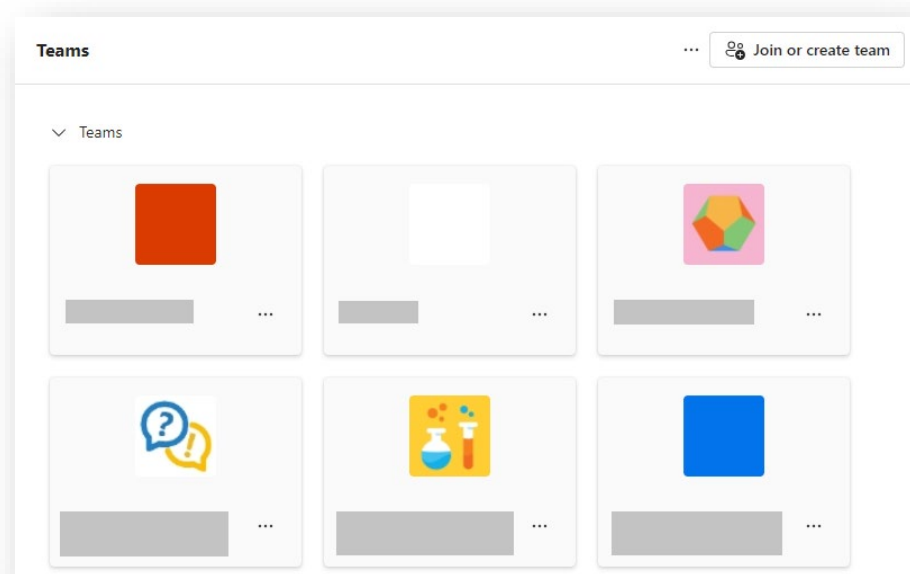
- **Word** : 文書作成アプリケーション (.docx)
- **Excel** : 表計算アプリケーション (.xlsx)
- **PowerPoint** : プレゼンテーション用アプリケーション (.pptx)



- 学内では多くの場合、**これらのアプリケーションがドキュメント編集に用いられ**、これらファイル形式でのデータ提出を求められます
  - 日常的にはこれらのアプリケーションを使用しない場合でも、所定様式での提出を求められた時などのため、使える環境を整えておいてください
- 学生または雇用された教職員は、自身の端末にApplicationをインストールして使うことが可能です
  - その他の方はウェブ版アプリケーションを利用してください

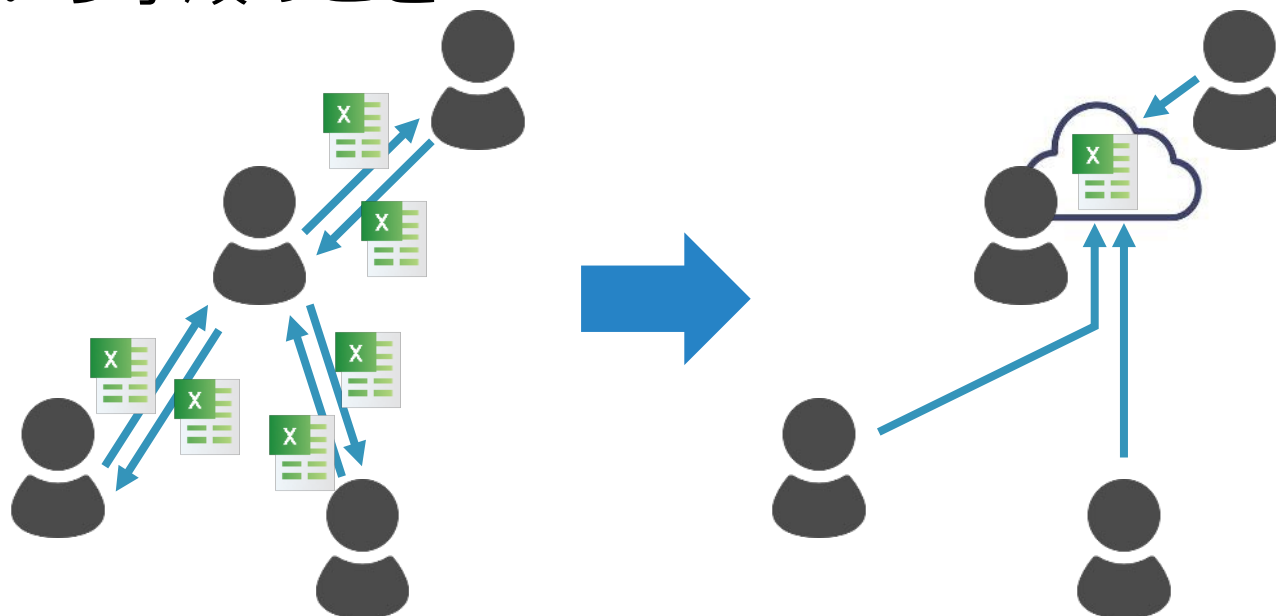
- 個人用のクラウドストレージ（正確には「OneDrive for business」）
- **50GB**の個人 OneDrive 容量が利用可能
  - 現在は容量を追加する方法はありません
  - **近日中にで容量を拡大できるようにする予定です**  
(大学の予算での支払いが可能な場合に限り, 私費負担は不可)

- 共同作業のため, Microsoft Teams のチームそれぞれに「SharePoint」と呼ばれる共有クラウドストレージが付随
- **大学予算で支払い可能な場合, 有償で容量を拡大できます**（私費は不可）。



# クラウドストレージを活用しましょう

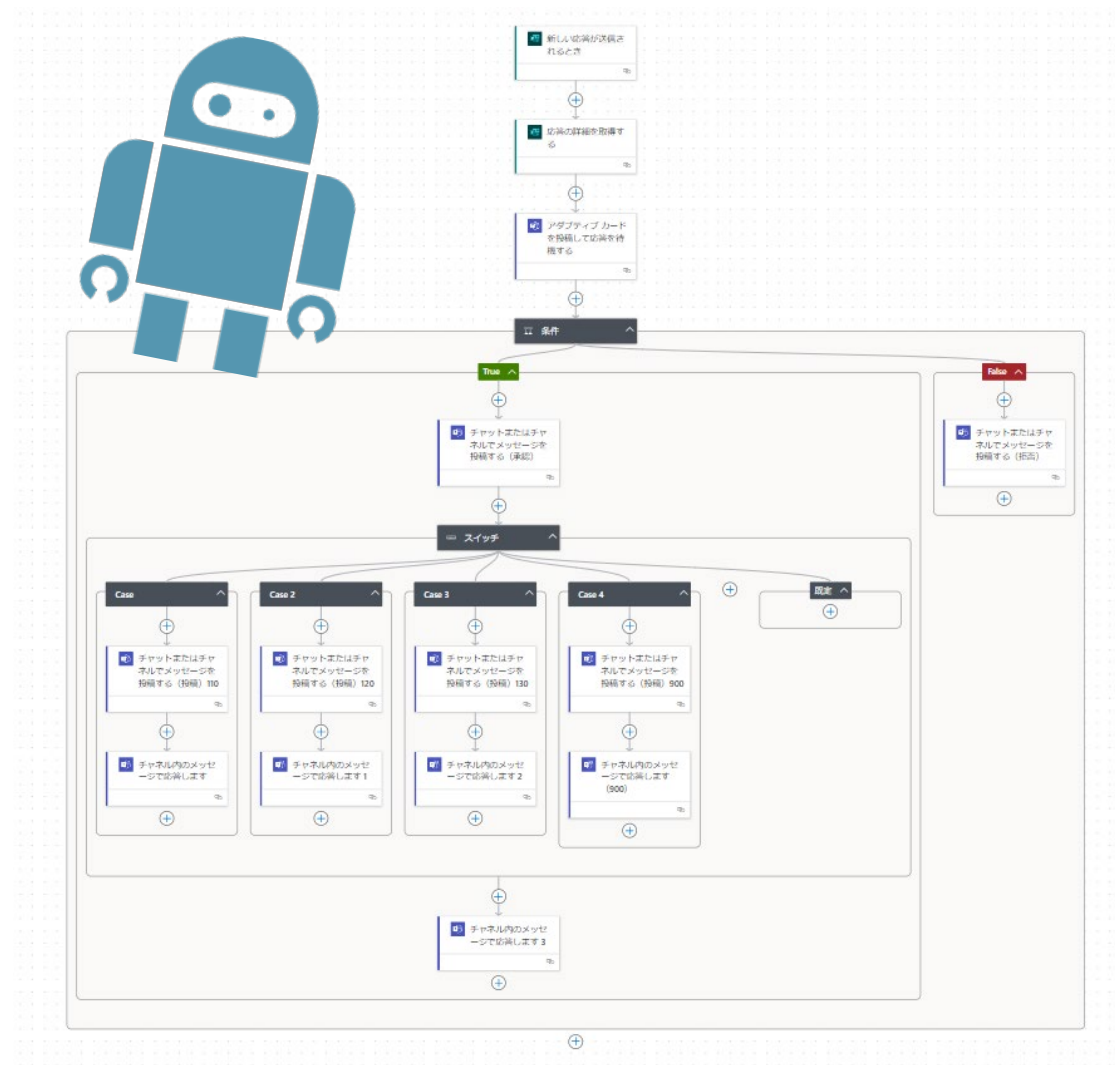
- ファイルはを共有することで同時に編集して共同作業が可能
- 共有リンクを発行することでファイルの送受が可能
- PPAPはなくしていきましょう
  - PPAPとは「パスワード付き（ZIP）ファイルを送ります，別メールでパスワードを送ります」という手順のこと





## Power Platform

- ノーコード・ローコード開発ツール
- 教職員は Power Automate と Power Apps が利用可能
- Power Automate を Microsoft Forms などと組み合わせると、簡単に業務の自動化が実現できる



# 生成AI

## Generative AI

1. Zoom などのオンライン会議用ツール
2. UTokyo Slack
3. ECCS クラウドメール (Google)
4. UTokyo Microsoft License
5. 生成AI
6. サポート体制

質問を**slido**でお寄せください

[このリンク](https://sli.do/)にアクセスするか,

<https://sli.do/> からアクセス

して以下のコードを入力

**utelecon20240913**

生成型AIは、大量のデータから学習したパターンに基づいて、テキスト、画像、音楽などの新しいコンテンツを作成できる人工知能の一種です。

Generated by Google Gemini

## 東京大学の構成員が利用できる生成AIサービス

- **Google Gemini**  
for Education
- **Microsoft Copilot**  
with Commercial Data Protection
- **Chatbot UI**  
with Azure OpenAI API

先行で試行運用していたもので、近々に終了予定です。詳細は[こちらの記事](#)を参照してください。



Generated by Microsoft Copilot

## 生成AIに関するメッセージとガイドライン

- 太田邦史理事・副学長（当時）のメッセージ
- 教員向け：AIツールの授業における利用について
- 学生向け：東京大学の学生の皆さんへ AIツールの授業における利用について
- 共通：東京大学における生成AI利用に係るセキュリティガイドライン

## Google Gemini

(ECCS クラウドメールの Google Workspace で利用可能)

<https://gemini.google.com/app>

- Google 社が提供する生成AI
- 入力したデータはモデルの学習などに利用されない

Gemini for Education ユーザーは、追加のデータ保護機能を利用できるようになりました



お客様が共有するデータは、プロンプトに回答するためにのみ使用されます。お客様のデータが、Gemini などの生成 AI モデルのトレーニングまたは改良に使用されることはありません。

[ユーザーデータの取り扱いの詳細](#)

完了

## Microsoft Copilot with Commercial Data Protection

<https://copilot.microsoft.com>

- Microsoft 社が提供するクラウドサービスで、OpenAI 社の chat GPT (GPT-4) に相当する生成AIとインターネット検索（Bing検索）とを組み合わせたもの
- 「商用データ保護を備えたMicrosoft Copilot」を利用でき、入出力データはモデル学習に使用されない
- 詳細は[uteleconの関係記事](#)を参照

### **(参考) Copilot for Microsoft 365**

Microsoft 365アプリに統合されたAIアシスタントで、文書の下書きなどの作業を支援する。個別ライセンス料を要するため、現在は一部の職員による試験利用中。

# Summary

## Part II : 東京大学で利用可能な コミュニケーションツールとクラウドサービス

1. Zoom などのオンライン会議用ツール
2. UTokyo Slack
3. ECCS クラウドメール (Google)
4. UTokyo Microsoft License
5. 生成AI
6. サポート体制

質問を**slido**でお寄せください

[このリンク](https://sli.do/)にアクセスするか,

<https://sli.do/> からアクセス

して以下のコードを入力

**utelecon20240913**

ZoomUTokyo SlackECCS Cloud Email  
(Google)Microsoft

- 東京大学は様々なサービスのライセンスを提供しています
- 一般向けサービスとはサインイン方法や使い勝手が一部異なる点がある点に留意してください
  - 一般向けサービスと共通の、各サービスの使い方についての情報は、公開されている様々な情報資源・媒体でも得ることができます

**ぜひ各種のツールを使いこなしてください！**



# サポート体制

(すべてのパートの内容に共通)

1. Zoom などのオンライン会議用ツール
2. UTokyo Slack
3. ECCS クラウドメール (Google)
4. UTokyo Microsoft License
5. 生成AI
6. サポート体制

質問を**slido**でお寄せください

[このリンク](https://sli.do/)にアクセスするか,

<https://sli.do/> からアクセス

して以下のコードを入力

**utelecon20240913**

## サポートが必要なときは

情報を得たい

**utelecon** ポータルサイト

UTokyo Portal

部局ポータルサイトなど

その他の公開されている情報

相談したい

**utelecon** サポート窓口

部局の情報担当部署・窓口

ITツール利活用コミュニティ

## 困ったときの **utelecon**

<https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/>

- Google検索
  - 多くの場合, 「utelecon」を組み合わせて検索すれば必要な情報が見つかる
- サポート窓口
  - チャット
  - オンライン通話
  - メールフォーム

utelecon zoom



## UTokyo Portal もチェックしてください

<https://univtokyo.sharepoint.com/sites/utokyportal/>

※ 教職員のみがアクセス可能（学生は不可）

- 通知（随時更新）
  - 定期的に最新の通知を確認してください
  - 重要な通知は和英併記で掲載されます
- マニュアル集「便利帳」
  - 教職員向けシステムの詳細はこちらに記載
  - 大学全体についての各業務分野の情報も掲載
  - （多くの記事は現状では日本語のみの提供です）

The screenshot displays the UTokyo Portal interface. At the top, there's a header with the UTokyo logo and navigation links like 'UTokyo Portal', 'お問い合わせ', 'FAQ', 'ポータルお問い合わせフォーム', and '通知の登録はこちら'. Below this is a 'UTokyo FOCUS' section featuring a message from President Fujii. The main content area includes a 'Notice of maintenance due to relocation of UTINET Hong1 area hub site' and a 'Notice of interruption of power supply in Hong1 campus'. There's also a 'Quick Reference' section with links to '座席表・便利帳' and '職員名簿'. The bottom section contains a 'Business Improvement' area with links to '業務改善ツール集' and '東京大学目安箱'. The right sidebar has a '便利帳' (Guide Book) section with various links for different departments and services.



# 部局の情報担当部署・窓口

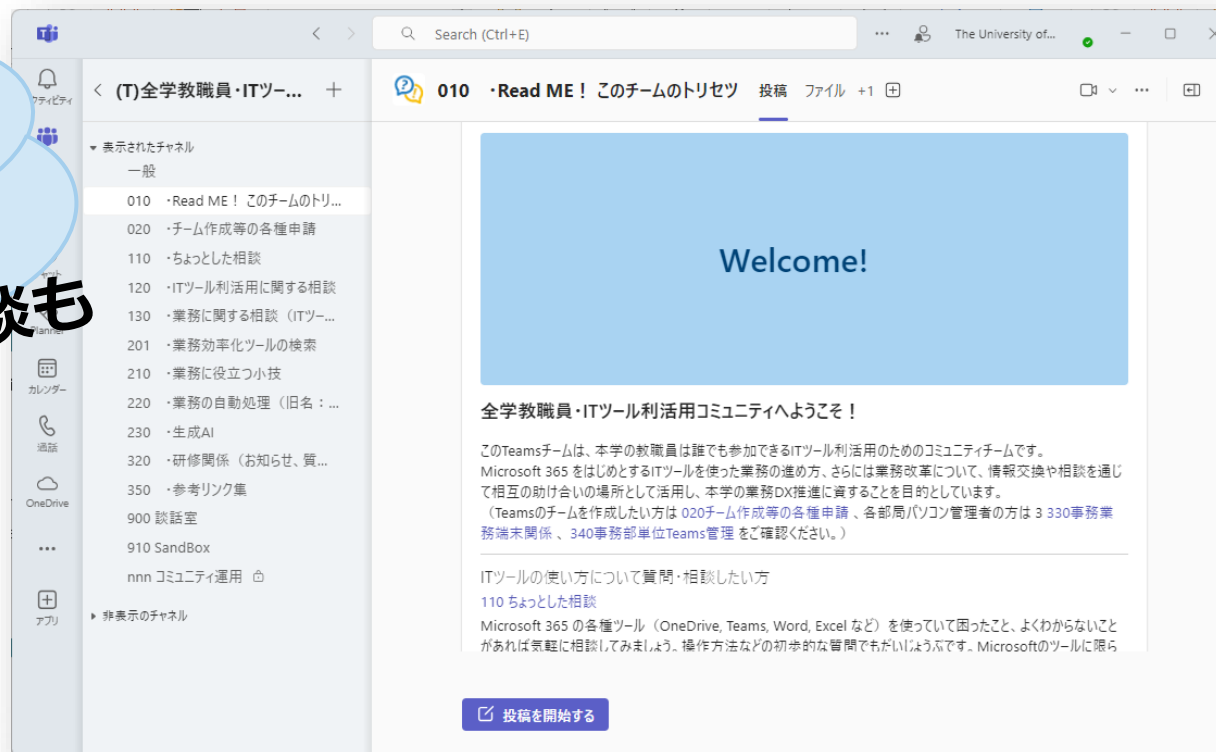
- 部局で独自に提供されている情報システムやサービスについては、部局の情報担当部署、担当窓口にご相談してください
- 部局が独自のポータルサイトを提供している場合もあります



教職員は誰でも参加できる Microsoft Teams のコミュニティ

ITツールの使い方の相談  
業務自動化・効率化の情報交換  
その他ITツール以外の業務の相談も

既に1,700人以上の教職員が参加しています



UTokyo Portal「ITツールの利活用」ページからぜひご参加を！

- 本日の説明内容は**現時点での最新情報**です
- サービスの提供内容や設定状況は、状況に応じて**変更となる場合があります**
- **最新の更新情報は utelecon ポータルサイト**や、その他の関係ウェブサイトでお知らせします

